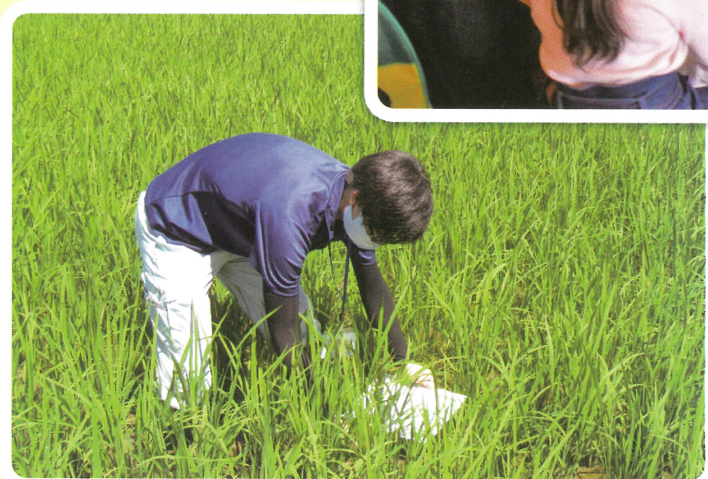
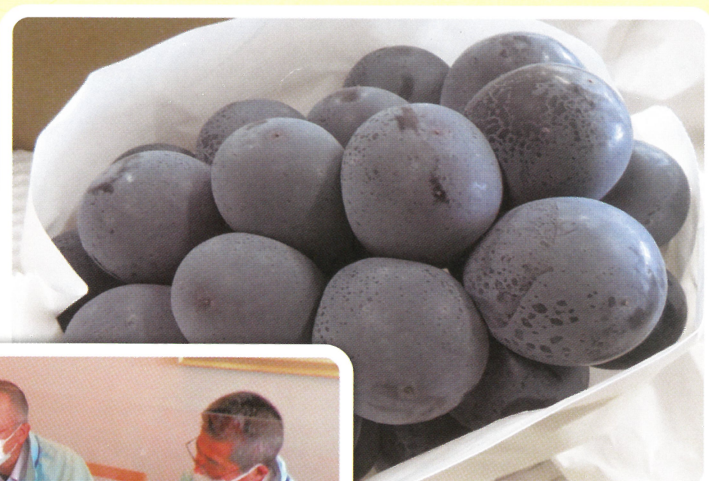


# あてつまんさく

## 新見の農業情報

普及だより 2021年



備中県民局 農林水産事業部

新見農業普及指導センター

# 目 次

## 1 担い手の確保と育成

- (1) 新規就農希望実務研修生の受入農家研修会で受入体制強化を支援 . . . . . 1
- (2) ぶどう新規参入者への早期経営確立に向けた支援 . . . . . 1
- (3) トマト営農団地を核とした新規就農者の育成 . . . . . 2

## 2 技術の情報

- (1) アスパラガスに蓄電池式ソーラーかん水システム導入で省力、増収 . . . . . 2
- (2) トマト新品種「麗月」の栽培実証～大玉化の検討～ . . . . . 3
- (3) 稲WCSの品質安定化に向けて～乳酸菌添加～ . . . . . 3
- (4) 水稻栽培にスマート農業技術を導入 . . . . . 4－5

## 3 普及活動の紹介

- (1) ～ハナれた家族にハナやかな贈り物を～ . . . . . 6
- (2) 新見産「桃のお酒」開発中 . . . . . 7
- (3) 6次産業化の研修を行いました . . . . . 7
- (4) 新見農業士会 市長と農業を熱く語る . . . . . 8
- (5) 農業経営の悩みごとにお答えします～岡山県農業経営相談所を活用してみませんか～ 8

## 4 今年輝いた人

- (1) 第54回 岡山県農林漁業功労者表彰 . . . . . 9
- (2) 第61回 岡山県農林漁業近代化表彰 . . . . . 9
- (3) 第60回 岡山県枝肉共進会 . . . . . 9
- (4) 令和3年度 岡山県花き共進会 . . . . . 10
- (5) 令和3年度 新見市花卉共進会 . . . . . 10
- (6) 令和3年度 新見市ピオーネ共励会 . . . . . 11
- (7) 令和3年度 新見市桃共励会 . . . . . 11

### 表 紙 写 真

左 上：桃のお酒 試作準備中                      右 上：ピオーネ共励会 入賞ぶどう  
中 央：大阪での就農相談  
左 下：水稻 トビイロウンカ調査                  右 下：いちごの栽培指導

## ■ 1 担い手の確保と育成

### (1) 新規就農希望実務研修生の受入農家研修会で受入体制強化を支援

新見地域では、ぶどう、トマト、りんどうで就農を希望する人が、早期に栽培技術や経営能力を身に付けられるよう、農業実務研修を行っています。この研修は、JAの各生産部会の方に受入農家になっていただき、1～2年の長期間行うもので、受入農家には研修生を指導するための経営や栽培の技術に加え、研修生とのコミュニケーションの取り方など、研修が効果的に進むようなコーチングの技術も必要になります。

そこで、普及指導センターは今年度、研修生受入体制の充実・強化を図るため、株式会社日本総合研究所の講師を招いて、「農業研修生受入農家研修会」を開催しました。

この研修会では人材育成のポイントやコーチングの基礎等について講習を受け、参加した方からは、「ティーチングとコーチングの違いがよく分かった」、「こういった研修は受入農家と研修生の双方に必要」といった感想や意見が聞かれ、今後の研修生の受入に向けて有意義な研修会となりました。

普及指導センターは今後も産地の維持・発展に繋がるよう就農希望者と受入産地の双方へ支援を行っていきます。



コーチングの基本について研修

### (2) ぶどう新規参入者への早期経営確立に向けた支援

新見地域では直近5年で9戸のぶどう農家が新規参入しています。普及指導センターは早期経営確立に向けて継続して支援しており、ぶどう部会や市と連携して栽培状況にあわせた個別巡回指導で技術向上を目指しました。さらに集合研修として、ハウスぶどう農家での結実安定や房づくり技術の視察、生理障害についての意見交換、毎年の出荷量増加と労力を分析した経営プラン作成研修会を実施しました。今年度は安定した結実と順調な果粒肥大で収量が増え、全戸が年度当初の目標を上回る見込みです。

これからも早期の技術習得と経営確立を図り、産地を担うぶどう農家になれるように支援を続けていきます。



ハウスぶどう農家の栽培技術に感服



収穫後も次年度に向けて巡回指導中

### (3) トマト営農団地を核とした新規就農者の育成

平成28年度に新見市北西部の神郷高瀬にトマト営農団地（耕地面積1.2ha）が整備され、令和3年度までで2戸の新規参入者が入植して栽培を行っています。また、団地内にあるJAのハウスで栽培経験を積んだ市内在住者2戸が地元で栽培を開始し、営農団地を核とした担い手の育成が進んでいます。



神郷高瀬地区のトマト営農団地

普及指導センターは、その他の定年帰農者等も含めた新規就農者の育成を図るため、個別巡回指導を中心とした栽培指導を重点的に行いました。栽培前に個別に面談して目標設定を行い、病虫害防除や時期に応じた管理を巡回指導した結果、昨年は病虫害の多発や管理の遅れなどで目標が達成できなかった方が、目標である部会平均単収を超える収量を上げるなど、着実に栽培技術の向上が進んでいます。

## ■ 2 技術の情報

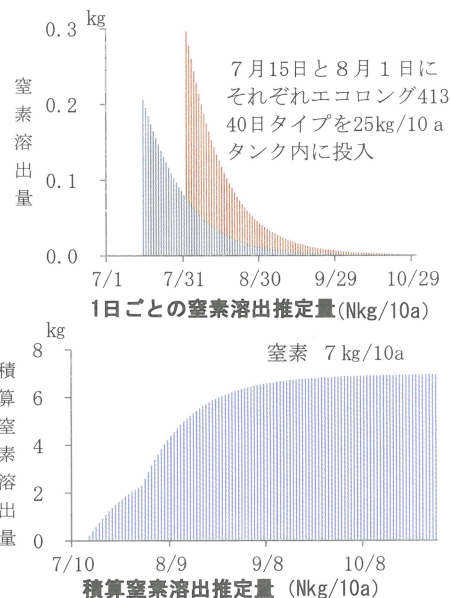
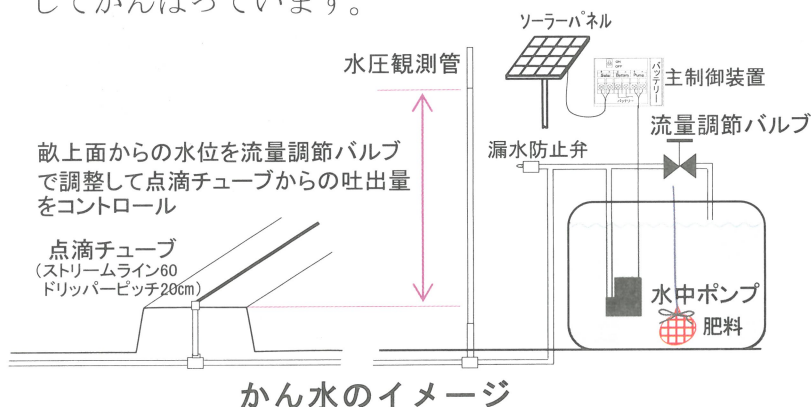
### (1) アスパラガスに蓄電池式ソーラーかん水システム導入で省力、増収

（農）ファームやだたに鯉が窪は、平成29年にアスパラガスの栽培を始め、今年、蓄電池式ソーラーかん水システム（ソーラーパルサーE）を導入し、かん水、施肥の省力化と収量の向上に取り組んでいます。このシステムは、太陽光で発電した電気を蓄電し、点滴チューブを使ってポンプでかん水する方式です。天候（発電量）により異なりますが、最大で3ℓ/株/日のかん水が可能です。



作業性の改善

従来うね間かん水では、かん水後、足元が悪く作業がやりづらくなっていました。システム導入により、作業性の改善と天候に応じた水管理、タンク内への肥効調節型肥料投入による追肥の省力化が実現しました。出荷は809 kg/10aで、目標は達成できませんでしたが、1tを目指してがんばっています。



## (2) トマト新品種「麗月」の栽培実証～大玉化の検討～

新見地域の夏秋トマトは、桃太郎系（タキイ種苗(株)）の品種が栽培されていますが、令和元年からは、他県の産地で導入が進んでいる「麗月((株)サカタのタネ)」の実証・調査に取り組んでいます。

これまでの調査で、「麗月」は安定的に着果し、裂果が少ないことが分かりましたが、平均1果重が小さく、小玉傾向であることが課題に上がりました。

そこで令和3年度は摘果による大玉化を検討するため、1段目から全ての果房を3果に摘果し、果実を調査しました。その結果、大玉率が上昇し、平均1果重も増加しましたが、摘果後に残った果実の肥大が期待ほど進まず、全体の収量は減少しました。

今後、販売単価から収益性を検討するとともに、引き続き「麗月」の栽培管理を検討していきます。

### 摘果が「麗月」の果実に及ぼす影響

	大玉率 (%)	平均1果重 (g)	収量 (kg/10株)	果数 (果)
摘果あり	39.8 (156)	169.5 (112)	33.2 (89)	196 (79)
摘果なし	25.5	150.7	37.5	249

※収穫期間：8月4日～10月26日

※大玉率は180g/果以上の割合

※（ ）内は摘果なしに対する比率

## (3) 稲WCSの品質安定化に向けて～乳酸菌添加～

稲WCSは、栄養価に優れた自給飼料であり、和牛の飼育に利用されています。新見市では、コントラクター（作業受託組織）を活用した安定生産体制が整備され、地域内での耕畜連携を推進しています。

新見市で生産されるWCSは大型ロール（直径高さとも約1m）のみで、小規模畜産農家ではロール開封後の品質低下が懸念されました。昨年度の実証で、稲WCSへの乳酸菌添加が品質保持に有効であったため、今年度は収穫機へ添加器を導入し、乳酸菌の添加調製を試験的に行いました。乳酸菌は「畜草2号(雪印種苗(株))」を使用し、WCS用稲5tに対し、乳酸菌25gを10～40ℓの水で希釈し、添加しました。今後、ロールの品質分析結果等から稲WCSへの乳酸菌添加を検討していく予定です。

これからも、畜産班は、稲WCSのロール品質安定化や生産・利用の拡大を支援していきます！「WCS用稲を作付してみたい」という方は、ぜひ御連絡ください。



収穫風景（乳酸菌添加）



牛への稲WCS給与

#### (4) 水稲栽培にスマート農業技術を導入

新見市は全域が中山間地域であり、狭小な水田が多く、畦畔の面積が大きいことから、水稲の防除や畦畔の草刈作業にかかる労力が大きいことが問題となっています。この問題を解決するため、農業者の関心を集めているのが「スマート農業技術」です。

「スマート農業技術」とは、ロボット・AI・IoT等の先端技術を活用して、省力・軽労化や高品質生産などを実現する新たな農業技術のことで、農業の現場の課題である担い手の高齢化や労働力不足への対応策として注目されています。

現在、新見市の水稲栽培では、効率的に農薬の空中散布を行う農薬散布用ドローンや斜面に立つことなく、安全な場所から快適に草刈作業が出来るラジコン草刈機の導入が進んでいます。導入した農業者からは「作業が楽になった」、「安全に作業でき、楽しい農業が実践できている」等の声が聞かれています。

そこで、更なる省力化や安定生産性を目的に、今年度、普及指導センターは各種スマート農業技術の実証に取り組みました。



農薬散布用ドローン



ラジコン草刈機

##### ア ドローンを活用した湛水直播栽培

ドローンを活用した水稲湛水直播栽培について、慣行の移植栽培と収量や作業時間を比較する実証試験を行いました。

湛水直播栽培とは、育苗を省略し、水田に直接種まきすることで労力やコストを削減する技術です。この種まきの際にドローンを活用することで、乗用の直播専用播種機等を使用する場合と比較して、更なる省力化が可能となるだけでなく、直播専用機での作業が難しい狭小で不整形な水田でも技術の導入が可能になります。



ドローンでの直播

試験の結果は、ドローンで湛水直播を行ったほ場では、移植栽培のほ場と同等の収量が得られました。また、田植までの10aあたりの作業時間は大幅に削減され、高い省力効果が確認されました。

田植までの10aあたりの作業時間（時間） ※準備時間は除く

	育苗・播種	基肥	田植	計
ドローン湛直	0.4	0.5	0.0	<b>0.9</b>
慣行（移植栽培）	3.0	0.0	1.2	<b>4.2</b>

## イ 水田空撮による生育診断とスポット施肥による安定生産

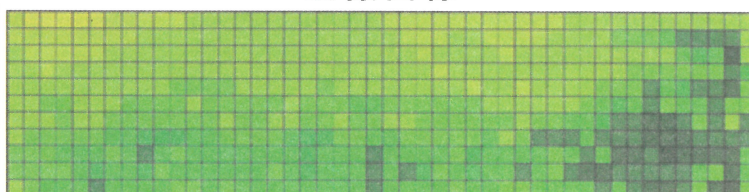
水稲の生育が進むにつれて、ほ場内の生育差は地上から確認しにくくなり、必要なところに追肥ができない、不必要なところに追肥をするなど、生産の不安定化に繋がります。そこで、実証試験として、カメラを取り付けたドローンで水田全体を空撮し、専用のソフトを利用して生育状況をメッシュ化し、生育の良否を色合いで確認しました。また、生育が悪い部分には、ドローンを用いてスポット施肥することで生育が揃い、生産の安定化を図ることができました。



空撮用ドローン



空撮画像



メッシュ加工画像

## ウ 水田水位センサー

担い手農家への水田の集積が進むと、遠隔地の水田の借入も増え、湛水状況の確認のための見回りの負担が増えます。そこで、計測した水位のデータをスマートフォンで確認できる水位センサーシステムを導入することで、水田の見回り時間が短縮でき、省力化を図ることができます。

現在、各メーカーから各種水位センサーが販売されていますが、高額なものが多く導入のネックになっています。そこで、農林水産総合センター及び県内企業と連携して、できるだけ価格を抑えた水位センサーシステムの開発に取り組みました。今年度は半導体不足の影響で試作品の開発が遅れ、十分な実証試験ができなかったため、次年度に作動状況や耐久性等を確認する予定です。



水位センサー試作機



スマホ表示画面



水位センサー設置の様子

### ■ 3 普及活動の紹介

#### (1) ～ハナれた家族にハナやかな贈り物を～

備北広域農業普及指導センターは、コロナ禍で帰省できない新見公立大学の学生を対象に、「ハナれた家族にハナやかな贈り物プロジェクト」を企画しました。

このプロジェクトは、新見特産のりんどうを敬老の日のプレゼントやお彼岸のお供えに飾っていただき、親しみを感じてもらうとともに、新見のりんどうを県外に広くPRできたらと、JA晴れの国岡山新見統括本部新見花卉部会（以下「新見花卉部会」）の協力で実現しました。

令和3年7月27日に新見花卉部会長が新見公立大学を訪問し、学長、学生代表にりんどうをプレゼントして募集を呼びかけました。その結果、北海道から沖縄県まで300件の申し込みがあり、9月5日より順次発送しました。

その後、SNSでの新見りんどうが届いた旨の投稿や、お礼の手紙が届くなど、予想以上の反響がありました。今回の企画に参加した学生へのアンケートでは、「新見市がりんどうの産地だとこれまで知らなかったが、今回の企画で知った」、「故郷へしばらく帰れていなかったが、りんどうが届いたと電話があり、久しぶりに家族と会話をした」、「機会があればまた参加したい」等の声が聞かれました。

普及指導センターは、今後もりんどうの生産振興やPR活動を支援していきます。



産地チラシを封入し発送しました



りんどうを贈呈



募集展示の様子



## (2)新見産「桃のお酒」開発中

新見地域の桃は、岡山県下では珍しく果皮を赤く着色させるように栽培しています。しかし、赤い桃は県下では加工用果実としても取り扱いが限定的です。

そこで、加工用の赤い桃の販路拡大を図るために普及指導センターは、阿新桃部会、J A、新見市とプロジェクトチームを立ち上げて、地元酒造業者三光正宗（株）と協働で「桃のお酒」づくりに取り組んでいます。

プロジェクトチームは、消費者ニーズを把握するため、新見産の桃購入者などを対象にアンケート調査を実施したところ、消費者は桃の香りに魅力を感じていることがわかりました。アンケート結果を踏まえ、桃のお酒を開発中です。品質管理やコストなどの課題を解決するために、今後も試作や検討を重ね、来年度の製品化を目指して活動を継続していきます。



桃のお酒の試作

## (3)6次産業化の研修を行いました

普及指導センターは食品衛生法の改正に伴い、「6次産業化」に関心のある農業者を対象に研修会を開催しました。

### ○食品衛生研修会

食品衛生法は令和3年6月1日に一部が改正され、営業許可や届出制度の見直しがありました。保健所からは特に漬物製造業について許可が必要になったことや、健康づくり財団からはH A C C Pの考え方を取り入れた衛生管理が重要との説明がありました。直売所等へ出荷されている方など加工品を販売する参加者は熱心に耳を傾けていました。



食品衛生研修会

### ○6次産業化加工研修会

野菜ピクルス（酢漬け）の実習を通して衛生面での注意点や品質を一定にするための方法を学びました。参加者からは「H A C C Pの考え方に基づいた原材料の洗浄方法や殺菌方法など自家用との違いを実感した」、「将来的には技術習得や設備整備後には加工販売していきたい」という感想がありました。



6次産業化加工研修会

近年、加工販売に関する法改正や制度見直し、適切な加工技術の習得など6次産業化を取り巻く環境は大きく変化しています。今後も普及指導センターは関係機関と連携し、必要な知識習得のための情報発信や研修会開催等により6次産業化を目指す方を支援していきます。

#### (4)新見農業士会 市長と農業を熱く語る

新見農業士会は、10月18日（月）、戒新見市長と農業・農村の実情や課題、対策等について意見交換することにより、今後の新見市の農業振興と地域活性化を図る一助とする目的で、「新見の農業を語る会」を開催しました。OB会員を含め、12名の会員が参加し、普及指導センターの進行のもと、新規就農者を安定的に確保するための方策等が話し合われました。



市長と記念撮影

会員からは「他地域よりも新見で就農の方がメリットを感じられるようにする必要がある」、「市独自の生活支援や農地と住居・作業場をセットにした受け入れ体制の整備が必要だ」などの提言があり、市長からは「このような会を早く持ちたいと考えていた。提言を参考に新見での就農がますます魅力的なものとなるような施策を検討したい」との発言がありました。

普及指導センターは、事務局として今後とも農業士会活動が新見市農業の発展に寄与できるよう活動を支援していきます。

#### (5)農業経営の悩みごとにお答えします ～岡山県農業経営相談所を活用してみませんか～

（公財）岡山県農林漁業担い手育成財団は、「岡山県農業経営相談所」を岡山市東区竹原の「岡山県立青少年農林文化センター三徳園」内に開設しています。

経営相談所は、農業経営の法人化、円滑な経営継承、経理・税務、雇用・労務管理、経営改善、就農相談、事業計画の作成、規模拡大や販路拡大の方法等、農業の担い手が抱える経営上の課題に対して、専門家によるアドバイスや支援を行っています。専門家には、中小企業診断士、税理士、社会保険労務士、弁護士、司法書士、行政書士、農業経営アドバイザー等様々な方がいます。

相談を希望される場合は、直接経営相談所の窓口かサテライト窓口（新見農業普及指導センター及び備北広域農業普及指導センター）へ経営課題の内容を相談し、その内容によって、窓口での対応や派遣による専門家の支援が受けられます。経営相談所の相談料は無料ですので、お気軽に相談してください。



経営相談所のパンフレット

## ■ 4 今年輝いた人

※敬称は省略させていただいております。

### (1) 第54回 岡山県農林漁業功労者表彰

◎岡山県知事表彰（農産部門）	中山 正己（豊永）
◎岡山県農林水産部長表彰（農産部門）	奥山 亮（哲多）
〃（畜産部門）	西村 佳明（哲多）

### (2) 第61回 岡山県農林漁業近代化表彰

◎農産部門	農事組合法人 ファームやだたに鯉が窪（哲西）
-------	------------------------

### (3) 第60回 岡山県枝肉共進会

令和3年12月1日、岡山県営食肉地方卸売市場で開催されました。県内各地から和牛70点、肉豚30セットが出品されました。

◎第1部（和牛去勢の部）	最優秀賞6席	（有）哲多和牛牧場（哲多）
	県有牛賞	（有）哲多和牛牧場（哲多）
◎第2部（和牛雌の部）	最優秀賞2席	（有）哲多和牛牧場（哲多）
	最優秀賞4席	
		J A 晴れの国岡山 田淵牧場（哲多）
	優秀賞首席	峠田 一也（千屋）
◎第3部（肉豚の部）	最優秀賞2席	
		岡山 J A 畜産（株）吉備農場（哲多）
	最優秀賞3席	
		岡山 J A 畜産（株）荒戸山 S P F 農場（哲多）
	最優秀賞4席	
		岡山 J A 畜産（株）荒戸山 S P F 農場（哲多）
	最優秀賞5席	
		岡山 J A 畜産（株）吉備農場（哲多）
	最優秀賞6席	
		岡山 J A 畜産（株）吉備農場（哲多）
	優秀賞首席	
		岡山 J A 畜産（株）荒戸山 S P F 農場（哲多）

#### (4)令和3年度 岡山県花き共進会

令和3年7月15日に岡山市南区岡山総合花きで開催され、切り花81点、枝葉物類18点、鉢物・苗物類19点、計118点の出品がありました。JA晴れの国岡山新見統括本部からは24点（りんどう、トルコギキョウ、宿根リモニウム、タラスピ、セロシア）の出品がありました。

◎優秀賞（岡山県農業協同組合中央会会長賞）

りんどう「ながの2号」

谷村 悦子（菅生）

#### (5)令和3年度 新見市花卉共進会

令和3年7月28日にJA晴れの国岡山Aコープあしん店生活センターホールで開催され、30点（りんどう、トルコギキョウ、きく）の出品がありました。

◎最優秀賞 新見市長賞

りんどう「おかやま夢りんどうピンク中生1号」

藤野 芳和（草間）

◎優秀賞 備中県民局長賞

りんどう「ホワイトベル」

池川 博泰（哲多）

備中県民局農林水産事業部長賞

夢野花農園

りんどう「しなの1.5号」

大島 節子（哲西）

岡山県農業協同組合中央会会長賞

りんどう「おかやま夢りんどう早生2号」

妹尾 牧能（新見）

全国農業協同組合連合会岡山県本部長賞

りんどう「しなの早生」

奥山 亮（哲多）

りんどう「ホワイトベル」

竹本 元則（大佐）



## (6)令和3年度 新見市ピオーネ共励会

令和3年9月22日にJA晴れの国岡山Aコープあしん店生活センターホールで開催され、61点の出品がありました。平均粒重は20.5g(最高24.7g)、平均糖度は17.3度(最高19.2度)、平均果皮色はカラーチャート8.7でした。

◎最優秀賞	岡山県知事賞	平山 数敏 (豊永)
◎優秀賞	新見市長賞	中川 浩志 (豊永)
	岡山県備中県民局農林水産事業部長賞	植田 正二 (豊永)
	岡山県農業協同組合中央会長賞	河原 咲美 (豊永)
	全国農業協同組合連合会岡山県本部長賞	杉本 昌幸 (豊永)
	岡山県農業共済組合長賞	常清 祥晃 (豊永)

## (7)令和3年度 新見市桃共励会

令和3年7月20日にJA晴れの国岡山Aコープあしん店生活センターホールで開催され、23点の出品がありました。平均糖度は10.8度(最高16.4度)で、全体的に甘みと酸味のバランスが良く食味は良好でした。

◎最優秀賞	新見市長賞	小川 晴夫 (草間)
◎優秀賞	岡山県備中県民局長賞	谷口 章 (草間)
	岡山県備中県民局農林水産事業部長賞	堀江 利明 (草間)
	岡山県農業協同組合中央会長賞	吉川 岩夫 (草間)
	全国農業協同組合連合会岡山県本部長賞	藤井 敏夫 (草間)



# 新見の主な農畜産物



ホームページ  
QRコード



Facebook  
QRコード

岡山県備中県民局農林水産事業部  
新見農業普及指導センター  
〒718-0003 岡山県新見市高尾2400  
担い手・農産班 TEL (0867) 72-9177  
園芸班 TEL (0867) 72-9179  
FAX (0867) 72-0495  
e-mail: niimi-fukyu@pref.okayama.lg.jp  
ホームページ: